

■福沢諭吉 啓蒙家，教育家。〈維新〉前後，西洋思想の紹介に努め，〔慶応義塾〕を創設，民間人に大きな影響。

ふくざわゆきち

滑稽+人情本 1835＝

大坂堂島の豊前中津藩の屋敷屋内で，藩の廻米方を勤める学問好きの百助の次男に生まれ，当日父がようやく入手した唐本「上諭条例」に因んで諭吉と命名される。

大塩平八郎乱 1837＝ 2歳：

脳出血で父を失い，一家で中津に帰る。

叔父の養子となって，父の家督を継いだ兄のもとで暮らしたが，中津の生活になじめず，下級武士・母子家庭としての無念を味わう。

天保改革終・1844＝ 9歳：

阿部正弘首座 1845＝10歳：

学識豊かな教養人でありながら軽格のため不遇に終わった父の生涯，中津における一家の孤立，下士の生活の惨めさは彼のうちに早くから“封建門閥”への強い不満をはぐくむ。

北斎没・・・ 1849＝14歳：この頃から，主に白石常人に漢学を師事し，上達すこぶる早く，

ペリー来航・1853＝18歳：〈ペリー来航〉するや，ついに中津を離れる決心を固め，

開国開港・・・ 1854＝19歳：長崎に出て蘭学を学び，

安政大地震・1855＝20歳：緒方洪庵の塾に入り，やがて塾長となる。

松下村塾・・・ 1856＝21歳：兄の死去で復籍して家督を継ぐ。

五ヶ国条約・1858＝23歳：*藩命によって江戸出府，中津藩下屋敷に蘭学塾(後の慶応義塾)を開く。

安政の大獄・1859＝24歳：横浜を見学して蘭学が実用に劣ることを悟り，英学を始める。

桜田門外変・1860＝25歳：最初の幕府使節のアメリカ派遣に際し，希望して軍艦奉行の従者となって渡米。ウェブスター辞典を入手して日本人として初めて持帰り，「(増訂)華英通語」を処女出版。幕府外国方に雇われ，塾も英学に転換。

遣欧使節・・・ 1861＝26歳：結婚後，ヨーロッパ6ヵ国派遣使節に参加し，

生麦事件・・・ 1862＝27歳：帰国。

暗殺の危機を感じて夜間外出を控える。

禁門の変・・・ 1864＝29歳：召し出されて幕臣となり，外国奉行翻訳方を命じられる。

薩長同盟・・・ 1866＝31歳：*列藩会議論を否定，‘大君のモナルギ’(将軍中心の統一国家体制)の樹立を説く。「西洋事情」(初編)を出すや，ベストセラーとなり，以後3年書き継がれ，日本社会の上下に大きな影響を与えた。刀剣を売り払い，

大政奉還・・・ 1867＝32歳：軍艦受取委員の一員となって渡米，多くの原書入手。この間，上司に楯突いたかどで，帰国後，一時謹慎となるも，開国と富国強兵への構想をはぐくみはじめる。以後，次々出版し，「西欧旅案内」の中で欧米の生命・火災・海上保険事業を紹介する。幕府にすでに変革の力がないことを知り，尊攘倒幕派を盲目的な排外運動としかみることができなかった彼は，日本の将来を悲観し，

明治維新・・・ 1868＝33歳：幕府に御暇願を出し，私塾を慶応義塾と名のって文明の火種を伝えることに踏み切り，明治新政府への出仕召しにも応じず，以後官職に就かず無位無官を通す。「訓蒙究理図解」は“究理塾ブーム”の先駆となる。

廃藩置県・・・ 1871＝36歳：新政府が意外にも盲目的攘夷とは逆の政策をとっていることを知り，

学問のすすめ 1872＝37歳：*5年にわたって「学問のすすめ」17編のシリーズを刊行して，天賦の個人の独立・自由・平等を基礎に下から国民国家を形成し，“天理人道”と“万国公法”の下に独立と平等の関係で交わる国際社会を構想した。

明治6年政変 1873＝38歳：森有礼，西周，加藤弘之ら当時第一級の洋学者とともに{明六社}を組織。

佐賀の乱・・・ 1874＝39歳：{民間雑誌}創刊する一方，三田演説会を始め，

初の民間工場 1875＝40歳：演説館を開館，「文明論之概略」までで名声は決定的になるが，「国権可分の説」で啓蒙から転向し始め，

三つの反乱・1876＝41歳：{家庭叢談}を創刊。

西南戦争・・・ 1877＝42歳：「丁丑公論」を著して西郷隆盛を悼む。

大久保暗殺・1878＝43歳：「通俗民権論」「通俗国権論」を刊行。

琉球処分・・・ 1879＝44歳：「民情一新」。「国会論」で国会即時開設による人心吸収を説く。東京学士会院の初代会長。

・・・ 1880＝45歳：社交倶楽部{交詢社}を結成。「民間経済録」で，保険の紹介普及に大きな役割。福沢は新政府の開明性に終始大きな期待をかけ，伊藤博文・井上馨・大隈重信から求められた政府機関紙発行参加に同意したが，政変によって裏切られ，民権運動の高揚に直面して国会開設を積極的に主張するにいたり，“内安外競”“官民調和”の構想を打ち出した。「時事小言」と，

新体詩抄・・・ 1882＝47歳：「帝室論」で完全に保守に転換。{時事新報}創刊し，以後{時事新報}と慶応義塾に集中。

秩父事件・・・ 1884＝49歳：自ら武器提供までしてきた朝鮮開化派のクーデタ甲申政変が失敗すると，

内閣発足・・・ 1885＝50歳：{時事新報}に“脱亜論”を発表，

帝国憲法発布 1889＝54歳：

この間，{時事新報}に掲載した文章を次々と単行本化して出版。

日清戦争始・1894＝59歳：日清戦争に際しては，文明と野蛮の戦いと見なして軍事的介入による朝鮮の“文明化”を説き，

日清戦争終・1895＝60歳：戦後には列強の中国分割への割込みを唱えるにいたる。

八幡製鉄始・1897＝62歳：「福翁自伝」に日清戦争の勝利を目のあたりにした満足感を表しているが，これに前後する「福翁百話」その他の文章には，日本における資本主義や議会議政治の前途についての不安がもられている。

子規句歌革新 1898＝63歳：*脳溢血を発症，一時回復するものの，

田中正造直訴 1901＝66歳：再発して，没した。

中公シリーズ「日本の名著」，日本人物誌叢書「廿一大先覚記者伝」，「人づくり風土記(大分)」，「日本史を変えた人物200人」，「日本史重要人物101」，「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，「日本の群像」，平凡社百科事典，山田風太郎「人間臨終図巻」，「目でみる日本人物百科」，「なにわ人物譜」，